

居室内に於いては活動に左右される事が多く、天井裏、床下に於いては居室内の活動にも影響されるがそれよりも建築資材に基づくものが多い。

1 塵埃の研究（第5報）住居内塵埃の長期観察

愛知学芸大学 奥山 静

先に居室内、部屋別の掃出塵埃量について、更に又浮遊塵埃の分布について調査を行ってこれを夫々報告したが、今回は居室内並びに天井裏、床下に於ける堆積塵埃並にその成分構成について、生活様式、建築様式や素材を異にする住宅に於いて長期観察を試みたのでこれを報告する。其の結果居室内に於ける堆積塵埃について、教員生活を行う家庭A、に於いては月平均 $0.31\text{mg}/\text{cm}^2$ であり、月別にみると1月の $0.49\text{mg}/\text{cm}^2$ が最大、次いで12月の $0.42\text{mg}/\text{cm}^2$ であり、最小は5月の $0.26\text{mg}/\text{cm}^2$ であった。部屋別にみると、三畳額縁が $0.43\text{mg}/\text{cm}^2$ で最も多く、台所が $0.19\text{mg}/\text{cm}^2$ が最小であった。尚茶の間、寝室に於ける堆積塵埃をA住宅、ガラス紡工場に通勤する家庭B、ガラス紡績を家内工業としている家庭C、愛知学芸大学、家政実習の家（実習期間中の測定である）D、についてみると、A、は $0.34\text{mg}/\text{cm}^2$ 、 $0.29\text{mg}/\text{cm}^2$ 、B、は $0.42\text{mg}/\text{cm}^2$ 、 $0.33\text{mg}/\text{cm}^2$ 、C、は $12.5\text{mg}/\text{cm}^2$ 、 $7.3\text{mg}/\text{cm}^2$ 、D、は $0.37\text{mg}/\text{cm}^2$ 、 $0.46\text{mg}/\text{cm}^2$ であった。

天井裏、及床下に於ける月平均、は高台に建築され相当入念に施工されたD、は $0.26\text{mg}/\text{cm}^2$ 、 $0.16\text{mg}/\text{cm}^2$ で、比較的湿気の多い土地に建築されたA、は $0.95\text{mg}/\text{cm}^2$ 、 $0.29\text{mg}/\text{cm}^2$ であった。成分構成についてみると